

高倉だより 評価特集号

令和6年12月2日

京都市立高倉小学校

学校長 野口十三枝



～令和6年度 前半学校評価結果をお知らせします～

毎年、年度の前半・後半に一度ずつ、学校評価アンケートを実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。前半評価は、教育年間計画に沿った教育活動の実践の中間点検にあたります。

令和6年度 前半学校評価の取組

今年度も、評価項目については、年度当初にお配りした「高倉小の教育」リーフレットの各ページにある「評価のポイント」をもとに設定しました。それは、昨年度からの経年変化もみていきたいと考えたからです。なお、今年度もスマイル評価部会による検討会におきまして、質問項目の検討や結果の分析を行いました。



学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子
豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

【令和6年度 前半学校評価の流れ】

- 4月 教育計画・評価計画
- ↓
- 6月 アンケート項目の検討
- ↓
- 7月 アンケート実施（児童・保護者・教職員）
- ↓
- 7～8月 アンケート集計・分析
- ↓
- 9月 校内評価（「自己評価」）
- ↓
- 10月 スマイル「評価部会」による検討会
- ↓
- 11月 学校関係者による評価
「スマイル21プラン委員会拡大理事会」において

評価項目と集計結果（R5年後半との比較）

▶5分野 24項目

▶4段階評価（そう思う・だいたいそう思う…**プラス評価**
あまりそう思わない・そう思わない…**マイナス評価**）

	R5後半			R6前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
<確かさを育む教育>						
① 学校の勉強がよくわかる	96.4%	91.2%	100.0%	95.9%	91.3%	100.0%
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	92.2%	90.6%	96.8%	88.2%	90.2%	93.5%
③ 読書は好きですか(家庭での)	84.3%	59.7%	87.1%	86.9%	57.6%	66.8%
④ 家庭で読書をどのくらいしていますか ※別掲						
⑤ 家庭学習	94.6%	71.3%	93.5%	95.0%	71.3%	90.0%
⑥ 最後までやりぬく	95.5%	90.8%	100.0%	94.5%	89.0%	96.8%
⑦ 見通しをもって学習(学習予定表の活用)	90.2%	77.6%	90.3%	90.9%	80.9%	86.6%
⑧ 授業中の約束守って、集中して	95.5%	95.4%	90.3%	95.7%	95.6%	93.5%
<豊かさ・たくましさを育む教育>						
① 学校生活が楽しい・安心	93.3%	95.6%	96.9%	94.0%	95.6%	96.9%
② 思いやりのある温かい言葉づかい	94.9%	88.5%	84.4%	93.5%	91.1%	90.6%
③ 友達と大切にしよう	97.8%	96.0%	90.6%	97.2%	97.4%	100.0%
④ 学校の決まりを守って行動	97.3%	96.9%	81.3%	96.5%	95.6%	79.4%
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	98.0%	98.3%	90.6%	97.9%	95.5%	65.7%
⑥ 学校・家でのあいさつ	96.2%	86.8%	71.9%	93.9%	86.5%	64.7%
⑦ 地域でのあいさつ	94.2%	80.7%	81.3%	94.4%	80.3%	75.7%
<健やかな心と体を育む教育>						
① すすんで外遊び	76.1%	72.5%	87.5%	68.5%	79.1%	90.6%
② 食事マナー	97.5%	84.3%	93.5%	96.6%	82.3%	93.8%
③ 食事の好き嫌いをなく楽しく	89.5%	76.5%	93.5%	91.1%	75.7%	83.9%
④ 朝ご飯	94.4%	96.9%		95.6%	96.2%	
⑤ 安全な登下校	97.5%	98.1%	87.5%	97.5%	97.0%	93.3%
⑥ 自分の心や体を大切に	97.3%	95.2%	100.0%	94.5%	91.2%	96.8%
<高倉小の特色ある教育>						
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	95.7%	94.8%	100.0%	96.6%	94.2%	100.0%
<学校・家庭の連携>						
① 先生に話をしたり相談したり	84.1%		93.8%	83.0%		90.7%
② おうちの人に話をしたり相談したり	88.1%	90.8%		85.3%	91.0%	

※④家庭で読書をどのくらいしていますか R5後半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	22.8%	23.5%	28.4%	25.3%
保護者	26.6%	28.1%	26.4%	18.9%

R6前半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	17.1%	21.6%	27.0%	34.2%
保護者	30.1%	29.3%	24.1%	16.5%

「読書は好きですか」の項目は、児童の評価は上がっています。しかし、保護者や教職員の間での評価は下がっています。学校ではしっかりと読書ができています。別掲の「家庭での読書に費やす時間」が全体的に減っていますが、学校で読書をしている分、家庭では別のことをする時間にあてているということではないでしょうか。

「授業中の約束を守る」「思いやりのある温かい言葉づかい」「友達と大切にしよう」など、学校内で比較的落ち着いて過ごさせていることがこの結果からうかがえます。一方で「放課後や休みの日のルール」「あいさつ」などは、教職員の目から見てまだまだだと感じています。学校で学んだことを地域でも生かしていけるよう、今後も指導していきたいと思えます。ご家庭や地域でも、ご協力をお願いいたします。

「すすんで外遊び」の項目では、児童の評価が下がっています。休み時間になると笑顔で運動場へ行く姿をたくさん見ていただけに、この結果は少々意外でした。夏の暑さが厳しかったこと、遊びたくても熱中症指数により外で遊べなかったことも要因の一つでしょうか。

全体として

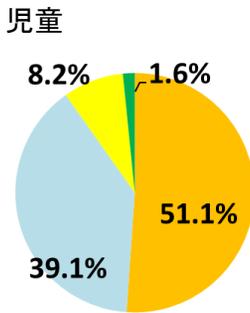
ほとんどの項目でプラス評価が90%となっています。上記のように、きまりの面で評価が上昇しています。これは学校で見せる子どもたちの姿がよりよいものになっているということだと思います。一方で、放課後や地域でのルール、あいさつに課題があります。学校は社会で生きていく力を身につけるところです。子どもたちがしっかりと自立できるよう、家庭と連携を取りながら子どもたちのさらなる成長を支援していきたいと思えます。

学校評価前半アンケート結果より



確かさを育む教育について

Q. 自分が思ったことや考えたことをすすんで伝えていきますか。



本校のめざす子ども像「高倉の子」の1つに、「すすんで学び よく考えよく話す子」をあげています。「自分の思いや考えをすすんで伝え合っているか」の項目ではプラス評価が、児童88.2%でした。昨年度後半が92.2%だったことを考えると、マイナス評価が増えています。コロナ禍での制限がなくなったことで、ペア学習や話し合い活動などを積極的にすることができているにも関わらず、子どもたちが成果を感じていないことに大きな課題を感じています。

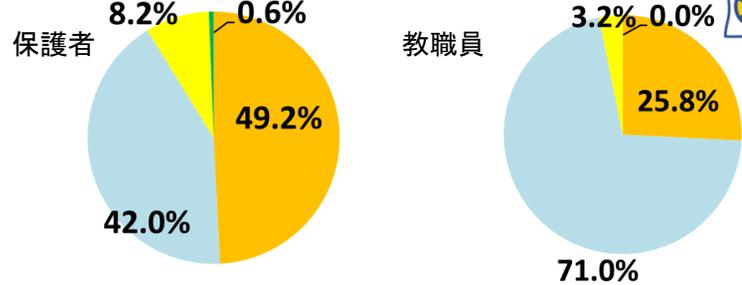


これからの社会において自分の考えを「すすんで（主体性をもって）」話すことは必要不可欠です。話し合い活動を積極的にすすめ、考えや意見を言える場を増やし、その意見や考えをみんなで受容できるよう、まずは授業を見直し、改善することで「すすんで」伝えられる子どもを育てていきたいと思っています。

■ : そうおもう ■ : あまりそうおもわない
 □ : だいたいそうおもう ■ : そうおもわない

健やか心と体を育む教育について

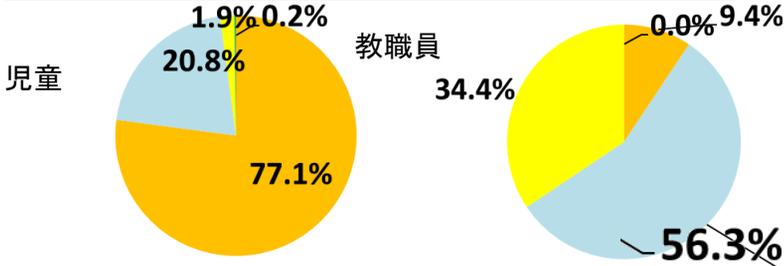
Q. 自分の心や体を大切にしようとしていますか。



こちら保護者と教職員の評価、つまり大人の評価が昨年度の後半よりも低い結果となりました。数値的には90%を超えているので、高い水準とはいえますが、ここは100%であってほしいと思っています。子どもたちにはまずは何より自分自身を大切にしてほしいと願っています。自己効力感（自分にもできる・自分の力でがんばれそうだ・自分のよさを生かしたいという気持ち）と、自己有用感（自分は誰かの役に立っている・自分は必要とされている・自分は認められているという気持ち）を高めることが大事だと思います。そこがあってこそ、他人に対して優しく接することができるようになると思います。人とのつながりを大切に、自分の心や体を大切に思える子を育てていくために、一人ひとりに寄り添って子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

豊かさ・たくましさを育む教育について

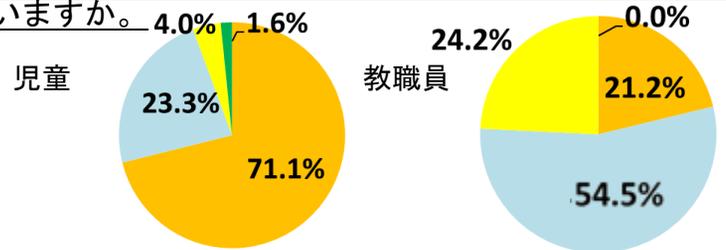
Q. 放課後や休みの日にルールを守っていますか。



上記でも少し触れましたが、「放課後や休みの日にルールを守っていますか」の項目では児童は97.8%の人ができている、ほぼできていると思っているものの、我々教職員は65.7%しかできていないと感じています。

1学期中に地域からお叱りの声を受けることが幾度かありました（公園でごみを散らかす。マンション内で鬼ごっこ。お店の窓をべたべたと触る。など）。学校で学んだことを社会で生かすというのが学校で学ぶ意義です。自分たちは社会の一員であることを自覚させ、保護者の方と協力しながらしっかりとルールやマナーを守れる子に育てたいと思います。

Q. 地域でお世話になっている人に元気にあいさつをしていますか。



こちら左記と同じく児童は多くの人ができている、ほぼできていると思っているものの、我々教職員はまだできていないと感じているところです。

児童会でもあいさつリレーを行い、あいさつについての意識を高めています。学校ではもちろん、お世話になっている地域の方々にもしっかりとあいさつをしてほしいと思います。ぜひ地域でも、おうちの方が子どもたちのあいさつのお手本となっただけ、積極的に声をかけしていただきたいです。また、11月22日よりあいさつリレーを行っていますが、こちらは保護者の方も参加できます。ぜひ一緒にあいさつをして、あいさつのよさを子どもたちに感じてもらいたいと思っています。

自由記述のご意見

今回の学校評価アンケートでの自由記述欄のご意見・ご感想の一部を紹介させていただきます。

- 水泳授業に参加できないときはプールサイドで見学するようですが、猛暑の中2時間ずっと見学するのは熱中症の危険がないのかと心配です。例えば図書室や別室でプリントに取り組むなど、安全な環境で過ごさせていただけたいのですが、難しいのでしょうか。子どもの安全のことですので、ご検討いただければ幸いです。
→おっしゃる通りです。来年度の水泳学習の際は、その点に十分に留意して取り組んでいきたいと思っています。
- 学校のトイレ環境があまり良くないと感じます。衛生面で掃除を徹底してほしいです。使う人のマナー（流し忘れ、手洗い等）をもう一度子ども達に学校側から教えていただきたいです。
→トイレに関しては、他の方からもご意見をいただきました。定期的に業者に掃除は入ってもらっているのですが、清潔な環境を保つことができるよう、掃除と指導を徹底していきたいと思っています。また、トイレ指導についても学校でも再度指導いたしますので、ご家庭でもご指導いただければと思います。
- コロナが終わり、観光客や、車、自転車の通行量も増え、電動キックボードなどや、多数の路上駐車もあり、登下校が非常に危険に見えます。
→人がたくさん戻り、賑わいがありますが、上記のように子どもたちの登下校にとっては危険な状況であることは確かです。学校でも登下校についての安全指導を徹底するとともに、地域の見守り隊の方々や警察とも連携をとって、子どもたちが安全に登下校できるように努めていきたいと思っています。ご家庭でも折に触れて登下校の安全についてお話ししていただければ幸いです。
- 小学校に入ってから言葉遣いが少しあらくなったと感じております。お前やてめえという言葉が使われるお友達がいるとの事なので、できる限りで指導を願います。柔らかい言葉遣いを心がけられるよう互いに努めたいと思います。
→言葉は時に暴力以上になります。その点を子どもたちにも意識させたいと思いますし、我々教職員もお手本となるようにしていきたいと思っています。保護者、地域の方々と協力し合いながら指導を進めていきたいと思っています。